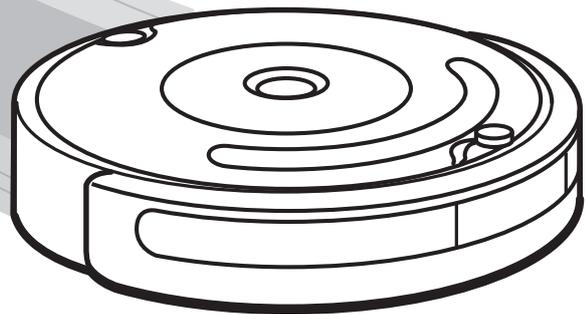


ロボット掃除機

ルンバ® 600 シリーズ

取扱説明書・保証書

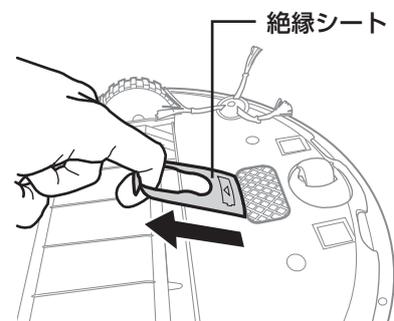
- *ご使用前に、本書を必ずお読みください。
- *本書は保証書を兼ねています。大切に保管してください。



はじめて使うときは、必ず絶縁シートを引き抜いてください！

- 1 ルンバを裏返し、水平な場所に置きます。
- 2 絶縁シートの穴に指を入れます。
- 3 力を入れて、ゆっくりと、絶縁シートを手前に引き抜きます。

・ バッテリーに通電し、メロディー音が流れます。



メモ 絶縁シートを引き抜けないときや、メロディー音が流れなかったときは、カバーを開けてバッテリーを取り外します (P.2)。絶縁シートを取り除き、バッテリーを取り付けてください。

はじめに 3

はじめにお確かめください	3
使用上のご注意	4
安全上のご注意	6
ルンバ®の名称と働き	8
クッションラバーについて	10

使ってみる 11

バッテリーを充電する	12
部屋を清掃する	14
ダスト容器を空にする	15
日ごろのお手入れをする	16

活用する 17

部屋を区切って清掃する	18
エラーメッセージの言語を切り替える	20
エラーメッセージ	21
リモコンを使う	22

お手入れする 23

ブラシを清掃する	24
フィルターなどを清掃する	26
車輪を清掃する	27
センサーなどを清掃する	28

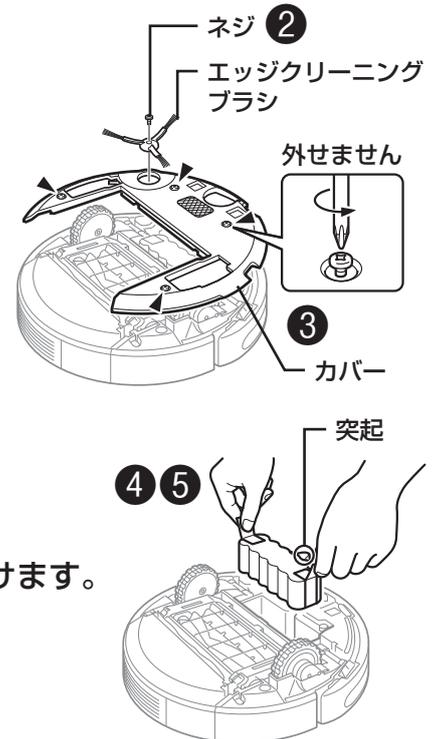
困ったときは 29

交換が必要な付属品	30
よくあるご質問	32
故障かなと思ったら	34
アフターサービス	36
製品仕様など	37
さくいん	38

絶縁シートを引き抜けない／ちぎれてしまったときは

プラスドライバーをご用意ください。

- 1 ルンバを裏返します。
- 2 エッジクリーニングブラシの中心にあるネジを外し、エッジクリーニングブラシを取り外します。
・ 外したネジをなくさないよう、ご注意ください。
- 3 裏面のネジ（4本）を緩め、カバーを取り外します。
・ ネジ（4本）は外せません。
- 4 図のように両手で持ち、バッテリーを取り外します。
- 5 絶縁シートを取り除き、バッテリーをルンバに取り付けます。
・ バッテリーの突起を、ルンバの前に向けます。
- 6 カバーを取り付け、ネジ（4本）を締めます。
- 7 エッジクリーニングブラシを取り付け、ネジを取り付けて締めます。
・ ネジを締めすぎないように、ご注意ください。



「バッテリーの正しい使いかた」(P.5) を必ずお読みください。

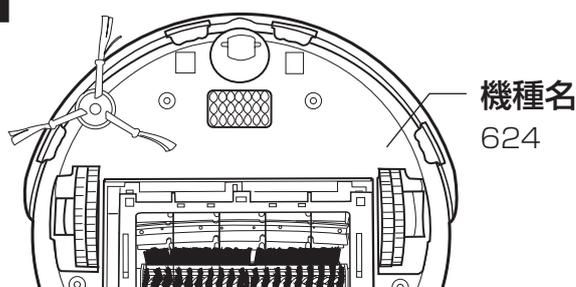
1 はじめにお確かめください

セット内容を確認する

別紙に記載されている「セット内容」をご確認ください。
万が一、不足品がございましたら、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

お買い上げのルンバ® の機種名を確認する

ルンバ 600 シリーズには、複数の機種があります。
ルンバの裏面で機種名をご確認ください。



保証書に製品番号シールを貼る

製品番号シール（付属）を、本書の裏表紙にある保証書の「製品番号」欄に貼付してください。
保証書の内容をよくお読みの上、本書を大切に保管してください。

ユーザー登録する

修理受付時や、製品および交換が必要な付属品をご購入の際にはお客さま確認が必要となりますので、ご登録をお願いいたします。

ご登録いただきますと、お問い合わせ時の対応が迅速に進みます。さらに、ご希望の方には、アイロボット社の新製品やキャンペーンの情報などをお届けします。

保証書と保証期間

保証期間は1年間です

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ただし、保証書を紛失すると、お買い上げ日から1年以内でも有料修理となります。ご使用状況によっても有料修理となることがありますので、保証書と本書をよくお読みください。

特に「使用上のご注意」(P.4)に記載されている誤った使いかたを行った場合、保証の対象外となります。

保証期間の終了後は

修理可能な故障の場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

スムーズなアフターサービスを実現するため、保証期間の終了後も保証書を保管してください。

×モ 補修部品の保証期間は、交換修理から90日間です。期間中に同じ部品が故障した場合、無料で修理いたします。

2 使用上のご注意

ルンバは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。
ルンバを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使用できない場所

次の場所でルンバを使用すると、敷物や床材を傷めたり、ルンバが故障したりすることがあります。

傷みやすい敷物や床材、壁材	<ul style="list-style-type: none"> ●毛足の長いカーペット ●デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物 ●柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面 ●ワックス塗りたて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください） ●デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）
ルンバが故障しやすい場所	<ul style="list-style-type: none"> ●毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド ●高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所 ●ストーブなど高温になる機器の周辺 ●タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

清掃前に準備が必要な物や場所

次の物品を、別の場所へあらかじめ移動させるか、ルンバから保護してください。または、部屋を区切るための付属品（P.18）を設定して、ルンバが近づかないようにしてください。

保護する必要がある物	<p>ルンバは障害物に当たって方向転換します。その際、障害物に振動を与えたり、まれにバンパーでこすったりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など ●軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい花瓶などの置き物、陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など ●机や台などが受けた軽い振動により、倒れたり壊れたり落下したりしやすい食器類、花瓶、置き物など ●吸い込まれやすいもの（アクセサリなど）
移動する必要がある物	<p>ルンバに以下の物が巻き込まれたり吸い込まれたりしないよう、掃除の前に移動させるなどの準備をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど） →片づけてください ●ペットなどの排泄物 →片づけてください ●電気機器やパソコンのコード →絡まないようにまとめてください ●カーペットやマットの端の長い房など →内側に折り込んでください ●床につくほどの長いカーテン →持ち上げてまとめてください
ルンバの動作を妨げる場所	<ul style="list-style-type: none"> ●高さ 10cm 未満の狭い場所を、ルンバは走行できません。ルンバの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。 ●床の敷居や段差などは、高さによりルンバが乗り越えられない可能性があります。走行中に引っ掛かってしまう場合には、ルンバが入り込まないように準備してください。 ●床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

バッテリーの正しい使いかた

ルンバは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

注意 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- ・落下などにより強い衝撃を与える
- ・ACアダプターが電源コンセントに接続されていない状態で、ホームベースやACアダプターにルンバを接続する
- ・ホームベースやACアダプターに接続せず、バッテリーをルンバに入れたまま1週間以上放置する
- ・取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
- ・直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

注意 充電は中断しないでください

充電開始後は、CLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯するまで、中断せずに充電してください。

バッテリーが過熱しているときは使用しない

充電中に、バッテリーのある辺り（前輪部とブラシの間）が熱くなることがあります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ルンバを使用してください。

週に一度以上は使用する、または充電する

使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも1週間に一度使用するか、充電してください。

1週間以上使わないときは

次の順序で操作してください。再び使用する際は、バッテリーをルンバに取り付けて十分に充電します。

- 1) 中断せずに充電する。
- 2) バッテリーを取り外し（P.31）、冷暗所で保管する。

注意 充電開始からルンバのCLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯するまで、最長16時間かかることがあります。

稼働時間が短くなっていることがありますが、充電→清掃→充電と何度か繰り返すと回復します。

充電せずに放置しない

ルンバの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに1週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。

ルンバをご使用にならない場合でも、常に充電してください。

充電せずに長時間放置したときは

過放電により、バッテリーが破損している可能性があります。ただし、次の順に操作（ルンバのリセット）することにより、バッテリーが回復する場合があります。

- 1) 電源を入れる。
- 2) SPOT（スポット）ボタンを押したまま、CLEAN（クリーン）ボタンが消灯するまでDOCK（ドック）ボタンを押し続ける（約10秒間）。
- 3) DOCK（ドック）ボタンから手を放すと、メロディー音が流れる（リセット完了）。
- 4) CLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯するまで、中断せずに充電する。

注意 充電開始からルンバのCLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯するまで、最長16時間かかることがあります。

上記の操作を行っても回復しない場合は、バッテリーを交換してください（P.31）。

3 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や物的損害（ルンバ本体および付属品を含む）を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。



警告

人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。



注意

人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

注意 煙がでたり、変なにおいがしたときは

- ・万一、製品から煙がでたり、変なにおいがしたり、製品が過熱したときは、ただちに使用を中止してください。発火・感電の原因になります。
- ・製品からバッテリー・乾電池・ACアダプターを取り外してください。
- ・煙がでなくなったのを確認し、アイロボットサービスセンターにご連絡ください (P.39)。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。

図記号について



この行為は、禁止されています。



この行為を、必ず実行してください。



この行為は、注意が必要です。

ルンバ® 本体・付属品



警告



引火性の高いものの近くで使わない、バッテリーを装着したままで可燃性スプレーを使わない
爆発や発火の原因になります。



食用油や機械油を吸わせない
発火や故障の原因になります。



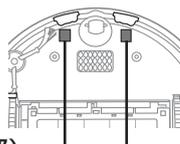
分解・修理・改造・改変をしない
発火・感電・けがの原因になります。



重いものを載せたり、投げたりしない
故障の原因になります。



充電直後は、ルンバ裏面の端子に触れない
やけどの原因になります。



端子 (充電用接続部)



濡れた手で触らない
感電の原因になります。



濡れる場所に置かない、濡れる場所で使用しない
感電や発火の原因になります。



水洗いしない、濡らさない
感電や発火の原因になります。
*お手入れについては、「お手入れする」(P.23)をお読みください。



雷が鳴ったら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。



高いところや不安定なところで使わない
落下による、けがや故障の原因になります。



排気口をふさがない
ルンバの変形や発火の原因になります。



排気口



排気口から金属や燃えやすい異物などを入れない
感電・発火・故障の原因になります。



子供やペットの近くでルンバを使用しない
けがの原因になります。



故障や異常があるときは使用しない
感電・発火・更なる故障の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源を切る
けがをすることがあります。



お手入れの際は、指をはさまれないように注意する
けがをすることがあります。



ブラシやフィルターは、ルンバの純正品を使用する
故障の原因になります。

⚠ 注意



動作中はルンバの裏面に触れない
けがの原因になります。



センサー、バンパー、車輪にシールやテープを貼らない
センサーが正常に動作しなくなり、故障の原因になります。

バッテリー・ACアダプター・ホームベース™

⚠ 警告



分解・修理・改造・改変をしない
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



ルンバ以外を充電しない
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



バッテリーの端子部を金属などで接続しない
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



電源コード・ACアダプター、ホームベース、電源プラグを破損しない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、はさんだり、重い物を載せたり、投げたりすると、破損します。感電・発火の原因になります。



水洗いしない、濡らさない
感電や発火の原因になります。
*お手入れについては、「お手入れする」(P.23)をお読みください。



火中に投じない、加熱しない
液漏れや爆発の原因になります。



ルンバ純正のACアダプターとバッテリーを使用する
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



家庭用のコンセント(交流100V)で使用する
火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持つ
感電・発火の原因になります。



故障や異常があるときは使用しない
感電・発火・更なる故障の原因になります。

バッテリー・乾電池

⚠ 警告



液漏れしたときは、素手で触らない
液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

4 ルンバ[®] の名称と働き

バンパー

壁や障害物を確認、センサーで距離を感知します。

エラーのときに点灯
*エラーメッセージと合わせてご確認ください (P.21)。

ダスト容器取り外しボタン

ダスト容器を取り外します (P.15)。

排気口

ダスト容器

ゴミを集積します。使用後は、必ず空にしてください (P.15)。

CLEAN ボタン (通常清掃ボタン)

- ・電源を入れます。
- ・2秒以上ボタンを押し続けると、電源が切れます。
- ・清掃を開始 / 終了します。
- ・バッテリー残量をお知らせします。

バッテリー残量表示など

緑 (点灯) 充電十分 / 充電完了
オレンジ (点灯) 残量わずか
赤 (点滅) バッテリー切れ
オレンジ (点滅) 充電中 (*)

*充電中にオレンジ色に速く点滅するときは、充電に最長 16 時間かかることがあります。

持ち運びハンドル

ルンバを持ち上げるときに、ここを持ちます。

赤外線受信部

ホームベースなどを感知します。

DIRT DETECT[™] ランプ (ゴミ発見ランプ)

ゴミが多い場所を集中的に清掃しているときに、青色に点灯します。

充電端子

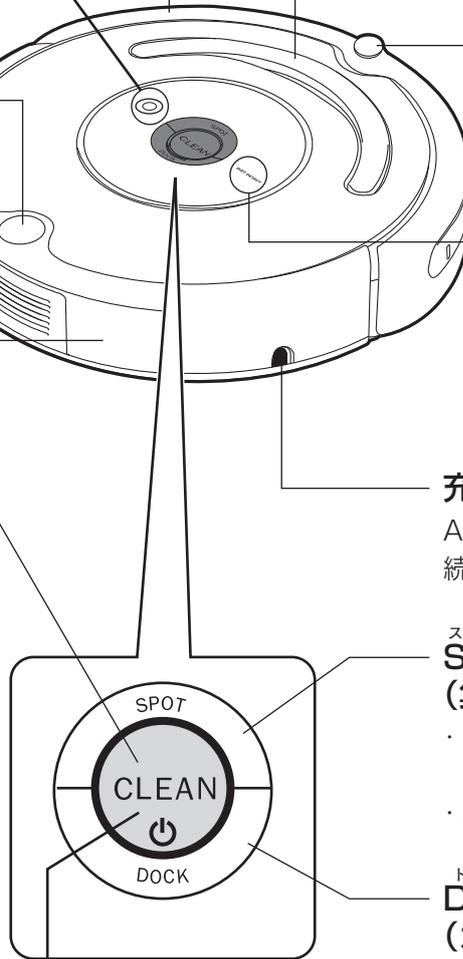
AC アダプター (付属) をルンバに接続するときに使います。

SPOT ボタン (集中清掃ボタン)

- ・ボタンを押した場所を中心に、半径約 60cm の範囲を主に清掃します。
- ・約 1 分後に停止します。

DOCK ボタン (ホームベースボタン)

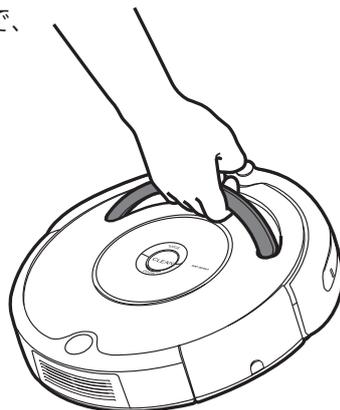
- ・ボタンを押すと、DOCK (ドック) 表示が点滅しながらホームベースに戻って充電します。
- *ホームベースから 1m 以内にルンバがあるときは、ホームベースに戻らないことがあります。



点灯 / 点滅する

ルンバ[®] を持ち運ぶときは

持ち運びハンドルをつかんで、図のように持ち上げます。



段差センサー (P.28)

段差を見つけます。

充電用接続部

段差センサー

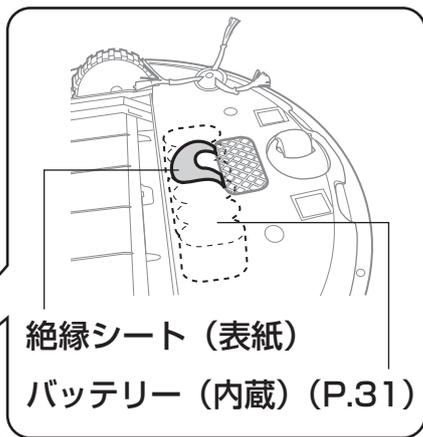
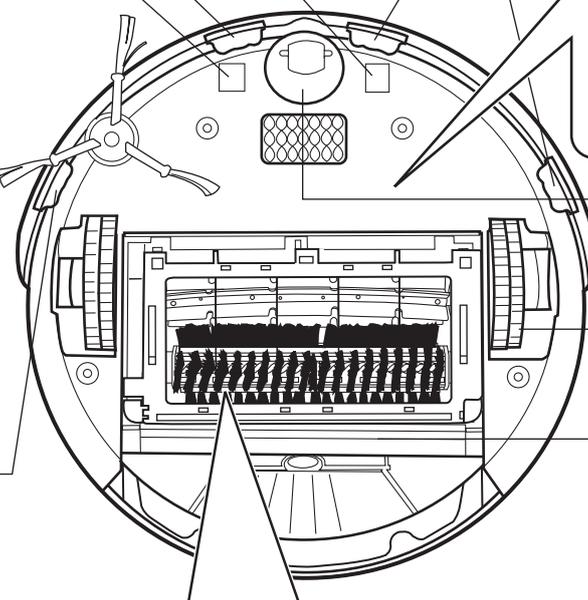
充電用接続部

ホームベースの接続部と接触して充電します。

**エッジクリーニング
ブラシ (P.24, 31)**

壁際や部屋の四隅のゴミを、回転しながら前方へかき出します。

段差センサー



絶縁シート (表紙)

バッテリー (内蔵) (P.31)

前輪部 (P.27)

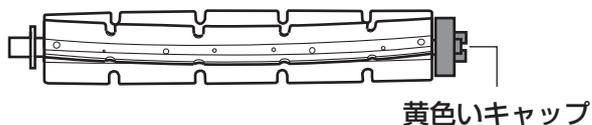
後車輪 (P.27)

吸込口

2枚のゴムのすき間から、ホコリを吸い込みます。

ブラシなど (P.24)

フレキシブルブラシ

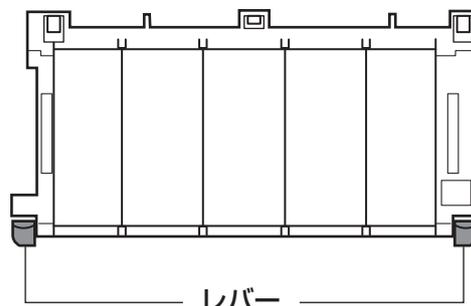


黄色いキャップ

メインブラシ



ワイヤーガード



レバー

注意 お手入れを欠かさず

ルンバの裏面は、使用しているうちに吸い込むゴミやホコリによって汚れてきます。さらに、デリケートな稼働部とセンサーが密集しているため、そのままにしておくとルンバの故障や、床面を傷付ける原因になります。ルンバを長く使い続けるため、定期的なお手入れをお願いします (P.23)。

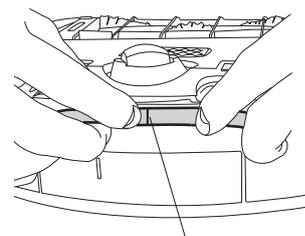
5 クッションラバーについて

ルンバはソフトタッチバンパーでやさしく障害物に当たりますが、それでもなお、傷つきやすい、柔らかい材質の家具などが心配な場合は、付属のクッションラバーを貼ってください。

クッションラバーをバンパーに取り付ける

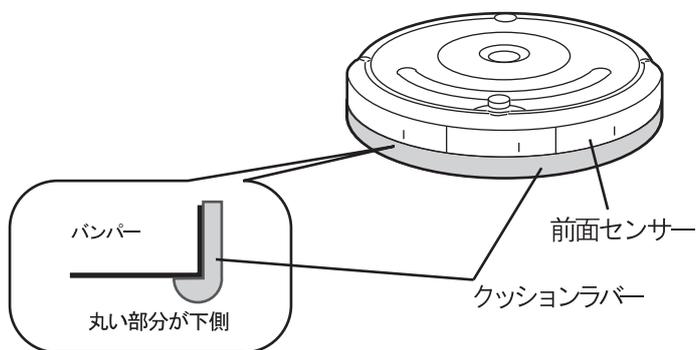
- 1 柔らかい布などで、バンパー部分の汚れを拭き取ります。
- 2 クッションラバーのシール台紙を半分だけはがします。
- 3 バンパーの中央にクッションラバーの中心線を合わせ、中央から外側に向かってバンパーに貼り付けます。

・クッションラバーの丸くなっている部分が、バンパーの下側に来ていることを確かめます。

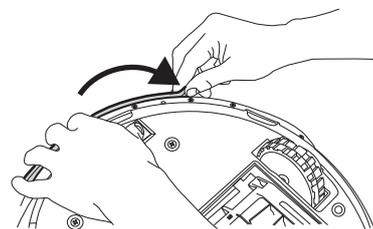


中心を合わせる

注意 前面センサー部分にクッションラバーを貼らないでください。前面センサー部分には絶対にクッションラバーを貼らないでください。誤動作の原因となります。

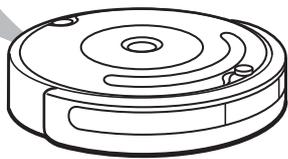


- 4 残り半分のシール台紙をはがし、中央から外側に向かってバンパーに貼り付けます。
- 5 クッションラバー全体を強めに押さえてバンパーと密着させます。



使ってみる

この章では、ルンバの基本的な使いかたを紹介します。
次の順序でお読みください。



はじめて使うとき

1 バッテリーを充電する (P.12)

日常の清掃

2 部屋を清掃する (P.14)

3 ダスト容器を空にする (P.15)

4 日ごろのお手入れをする (P.16)

次の清掃に備えて、バッテリーを充電する

1 バッテリーを充電する

出荷時のルンバには、輸送中に電源が入らないようにするため、バッテリー部に絶縁シートが挿入されています。お使いになる前に、絶縁シートを必ず引き抜き（表紙）、内蔵されたバッテリーを充電してください。

注意 充電は中断しないでください

はじめて使うときは、CLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯するまで、中断せずに充電してください。

メモ 充電中に AC アダプターが熱くなることがありますが、安全上問題はありません。

CLEAN（クリーン）ボタンが速く点滅するときは

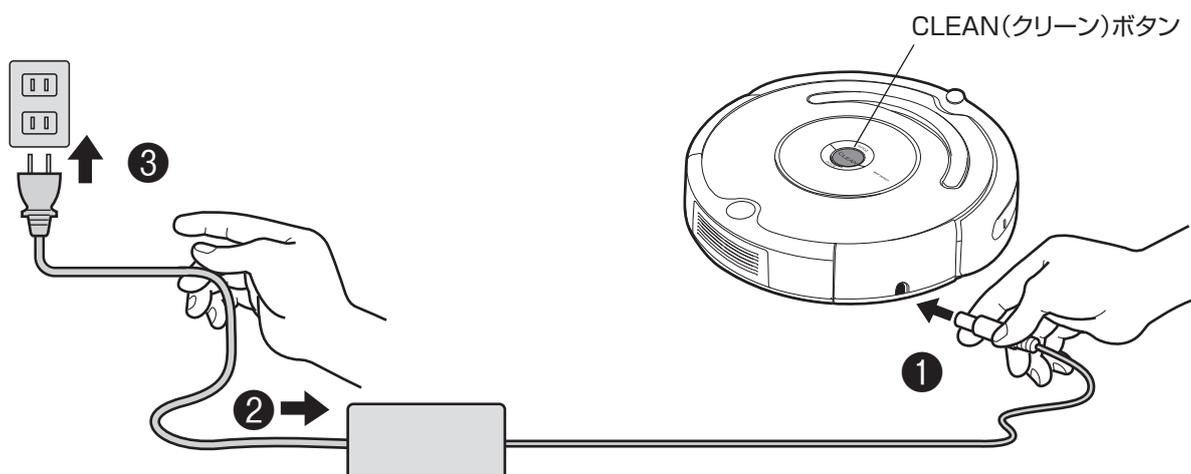
はじめて充電するときや、バッテリーの電圧が著しく低下しているときは、通常より時間がかかるリフレッシュ充電を行うことがあります。

リフレッシュ充電中は、CLEAN（クリーン）ボタンがオレンジ色に速く点滅します。緑色に点灯するまで、最長 16 時間かかることがあります。

充電方法は 2 通りあります

- ・ ルンバに直接つないで充電する（P.12）
- ・ ホームベース（Home Base）で充電する（P.13）

ルンバ[®] に直接つないで充電する



- ① ルンバの充電端子に AC アダプター（付属）を接続します。
- ② AC アダプターに電源コード（付属）を接続します。
- ③ 電源コードを電源コンセントに差し込みます。
 - ・ AC アダプターのランプが点灯します。
 - ・ ルンバの CLEAN（クリーン）ボタンが、オレンジ色に点滅します。
- ④ ルンバの ^{クリーン} CLEAN ボタンが緑色に点灯するまで待ちます。
 - ・ 通常は約 3 時間かかります。
 - ・ 最長 16 時間かかることがあります。

AC アダプターをルンバ[®] から取り外すには

電源コードを電源コンセントから抜いてから、AC アダプターをルンバの充電端子から取り外します。

ホームベース™で充電する

1 ホームベース（付属）を設置します。

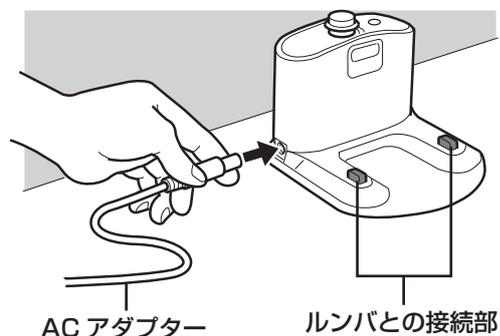
良い設置場所 ○	<ul style="list-style-type: none"> ●ルンバを最もよく使う部屋 ●さまざまな方向から見える場所 ●なるべく広い場所 ●平らで段差のない場所 <p style="text-align: center;">■ 部分には障害物を置かないでください。</p>		
悪い設置場所 ×	ルンバが落下します	<ul style="list-style-type: none"> ●階段の踊り場や玄関の上がりがまちなど、段差の近辺 	
	ルンバがホームベースに戻りにくくなります	<ul style="list-style-type: none"> ●上の図の範囲（正面 2m、幅 1.5m）に障害物がある場所 ●周囲 2.5m 以内にバーチャルウォールがある場所 ●プラズマテレビが近くにある場所 ●大きな鏡が近くにある場所 ●厚いカーペットや敷物の上 	
	ルンバのバッテリーの寿命が短くなります	<ul style="list-style-type: none"> ●高温・多湿の場所 ●風通しの悪い場所 	

使ってみる

2 ホームベースに AC アダプター（付属）を接続します。

3 電源コード（付属）を AC アダプターに接続し、電源コンセントに差し込みます。

- ・ AC アダプターのランプが点灯します。
- ・ ホームベースのランプが点滅します。



4 壁に添うように、ホームベースの向きを調節します。

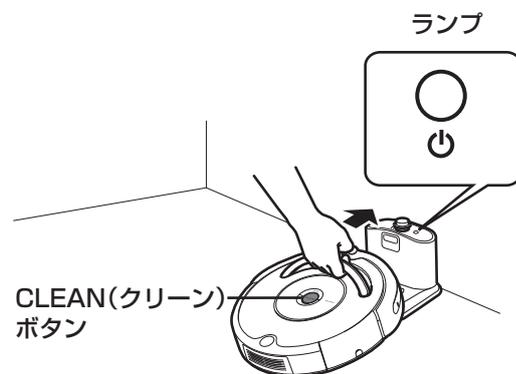
- ・ 走行中のルンバが電源コードに絡まないよう、電源コードを壁際に伝わらせてください。

5 ホームベースにルンバを載せます。

- ・ ホームベースのランプが点灯します。
- ・ ルンバの CLEAN (クリーン) ボタンが、オレンジ色に点滅します。

6 ルンバの CLEAN ボタンが緑色に点灯するまで待ちます。

- ・ 通常は約 3 時間かかります。
- ・ 最長 16 時間かかることがあります。



ホームベース™のランプが点滅から点灯に変わらないときは

ルンバ裏面の充電用接続部 (P.9) とホームベースのルンバとの接続部が接触するように、ルンバを載せなおします。

載せなおしても変わらないときは、アイロボットサービスセンターにご連絡ください (P.39)。

2 部屋を清掃する

CLEAN（クリーン）ボタンを押して清掃します。

清掃の準備をする

清掃を始める前に、お部屋とルンバの状態を整えてください。

壊れやすい物や床の小物を片づける	置き物にルンバがぶつかって傷をつけたり、床の上の小物をルンバが吸い込むことがあります。清掃の前に、これらを片づけてください (P.4)。置き場所を変えられない場合は、部屋を区切るための付属品 (P.18) を設定してください。
掃除の障害になる物を片づける	ペットの排泄物を吸い込んでルンバが故障することや、カーペットの長い房、カーテン、ビニール袋などにルンバが絡まる場合があります。清掃の前に、これらを片づけてください (P.4)。

バッテリーを十分に充電する

バッテリー残量が少ないと、清掃能力が低下します。

メモ 高さ 10cm 未満の場所は、ルンバが入り込めないため、清掃できません。

メモ 部屋の隅、家具のすき間などには、ルンバのブラシが届かず、清掃できないことがあります。

ダスト容器を空にする

ダスト容器にゴミが残っている場合は、ダスト容器を空にします (P.15)。

清掃する

1 クリーン CLEAN ボタンを押して、電源を入れます。

・ CLEAN（クリーン）ボタンが緑色に点灯します。

2 クリーン CLEAN ボタンを押します。

・ ルンバがメロディー音を鳴らしてから、清掃を開始します。
・ 清掃が終了すると、自動的に停止します。

ホームベース™をお使いの場合

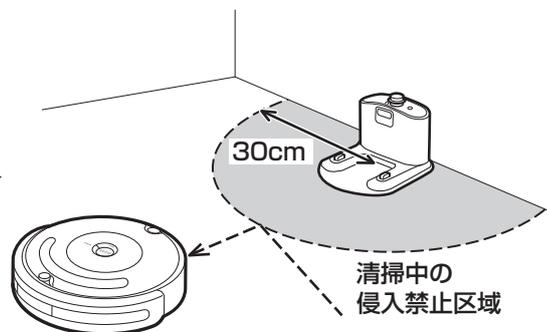
清掃が終了すると、ルンバは自動的にホームベースに戻り、充電します。

メモ ルンバは、清掃中はホームベースから周囲約 30cm に侵入しません。

清掃を中断するときは

CLEAN（クリーン）ボタンを押します。

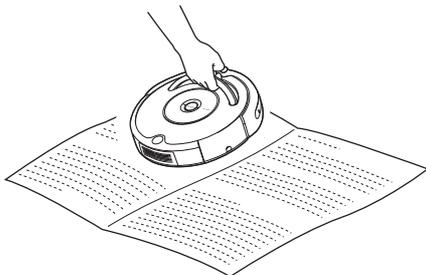
メモ 清掃中に何らかの異常が発生すると、ルンバは清掃を中断し、エラーメッセージで異常をお知らせします (P.21)。ゴミが詰まっていないか、髪の毛が絡まっていないかなど、エラーの原因を確認してください。エラーの原因を取り除いてもルンバが正しく動作しない場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください (P.39)。



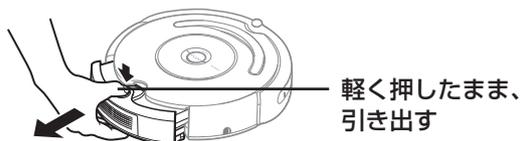
3 ダスト容器を空にする

ご使用後は、必ずダスト容器を空にしてください。ダスト容器にゴミがたまると、清掃能力が低下します。

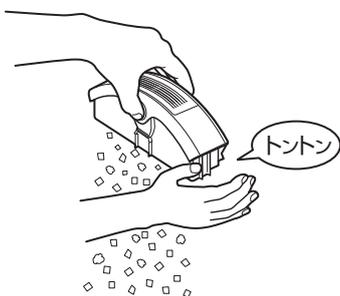
- 1 新聞紙などを敷きます。
- 2 持ち運びハンドルで持ち上げ、新聞紙などの上に移動します。
 - ・ CLEAN (クリーン) ボタンが点灯しているときは、2 秒以上押し続けて電源を切ります。



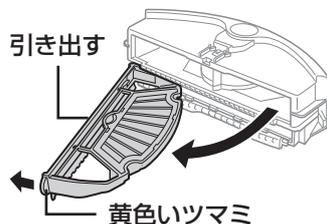
- 3 ダスト容器を引き出します。



- 4 ダスト容器のゴミを捨てます。



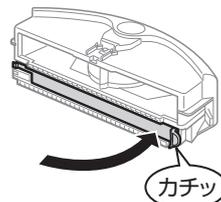
- 5 黄色いツマミを持って、引き出します。



- 6 ダスト容器のホコリを捨てます。



- 7 黄色いツマミを、元の位置に強く押し込みます。



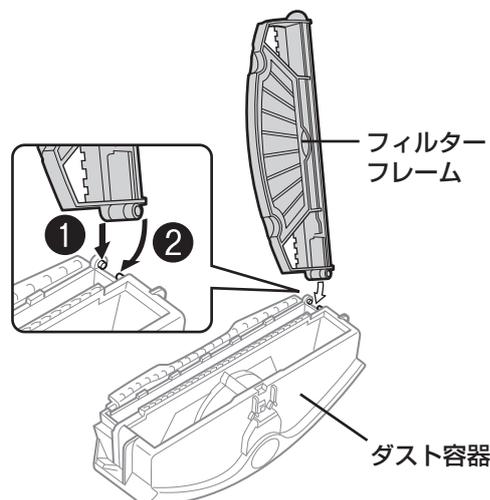
- 8 ダスト容器を、ルンバに戻します。

注意 ダスト容器は水洗いできません

ダスト容器には電子部品と紙製のフィルターが入っています。水洗いすると、故障や破損の原因となります。

フィルターフレームが外れたときは

ダスト容器の突起に、フィルターフレームの2箇所のくぼみを順に差し込みます。



4 日ごろのお手入れをする

ルンバに汚れがたまると、ルンバが誤動作したり、清掃能力が低下したりします。特にブラシにゴミが絡みついた場合、そのまま使用し続けるとバッテリーとモーターの寿命が縮まります。ルンバを長く使い続けるため、日ごろのお手入れをお願いします。

ご使用後に必ず確認する

ルンバを裏返し、前輪部・後車輪・ブラシなどを確認します。

髪の毛やひもなどが絡まっていたら、取り除きます (P.23)。

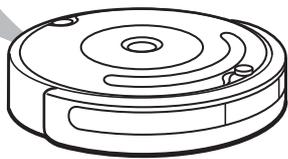
4～5回使ったら十分にお手入れする

ブラシ・フィルター・後車輪・センサーをお手入れします (P.23)。

お手入れの後は、バッテリーを充電します (P.12, 13)。

活用する

この章では、ルンバの便利な機能を紹介します。
使ってみたい機能を選んでお読みください。



- 1** 部屋を区切って清掃する (P.18)
- 2** エラーメッセージの言語を切り替える (P.20)
- 3** エラーメッセージ (P.21)
- 4** リモコンを使う (P.22)

1 部屋を区切って清掃する

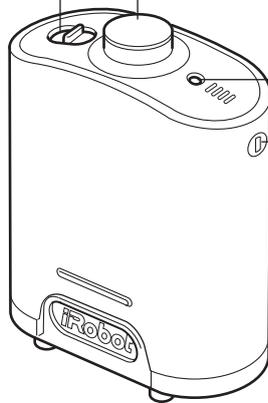
次のような場合は、付属のオートバーチャルウォール(仮想壁)を使ってルンバの進入禁止区域を設定します。

- 一度に清掃できない広いスペースを、2つに分けて清掃したいとき
- ルンバが接触して欲しくない、動かしにくい物が床にあるとき
- ルンバが入って欲しくない場所があるとき(バルコニーなど)
- ルンバが入り込んで抜け出せなくなる場所があるとき
- ルンバが低い段差を越えて落ちてしまうときや、段差の途中で引っ掛かってしまうとき
(和室と洋室の境目など)
- 階段付近を清掃するとき

オートバーチャルウォール[®]を準備する

切替スイッチ

状態	機能
AUTO(オート)	電源「入」
OFF(オフ)	電源「切」



赤外線発光部

ルンバへの信号を出します。

電源ランプ

状態	意味
緑 1 回点滅	電源「入」
緑 2 回点滅	電池交換が必要
消灯	電源「切」/電池が入っていません

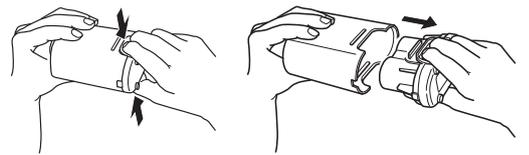
バーチャルウォール[®]発光部

見えない壁を作ります。

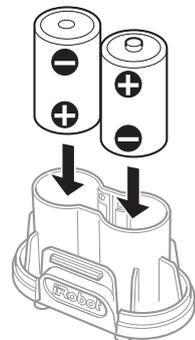
乾電池を入れる

単 2 形の乾電池を、オートバーチャルウォール 1 個につき 2 本、ご用意ください。

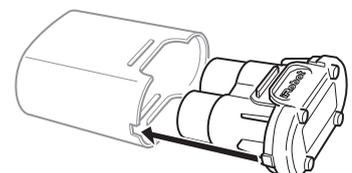
- 1 電池カバー両側の「iRobot」^{アイロボット} ロゴ部分を指で強く押さえながら引っ張り、電池カバーを取り外します。



- 2 乾電池を、図の方向に入れます。
・ + 極と - 極の向きにご注意ください。



- 3 電池カバーを取り付けます。
・ カバーと本体の凸凹を合わせてください。
・ カチッと音がするまで、しっかりとめ込んでください。



オートバーチャルウォール[®]を使う

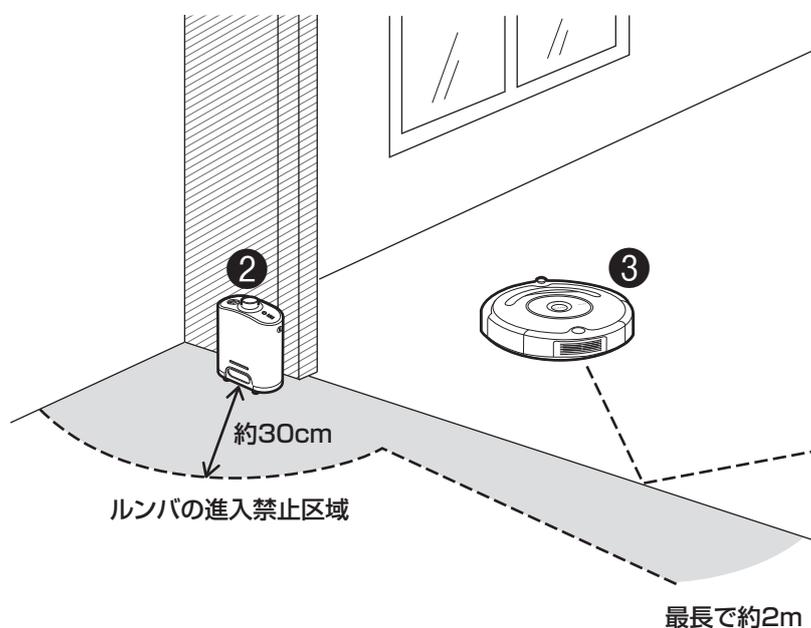
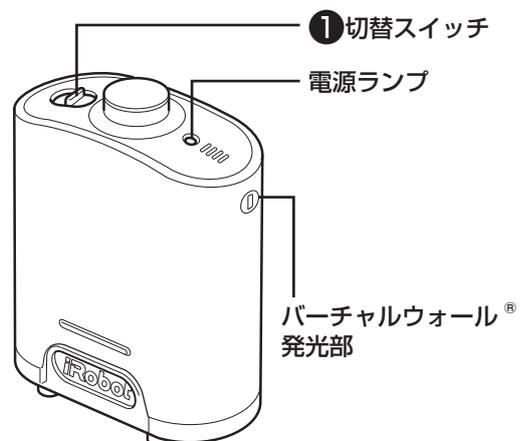
① 切替スイッチを「^{オート}AUTO」に合わせます。

- ・ 電源ランプが約 10 秒ごとに 1 回点滅します。
- ・ 2 回点滅するときや、消灯したままのときは、新しい乾電池に交換します (P.18)。

② 壁を作りたい場所の端に設置します。

- ・ ルンバが走行する床か、同じ高さの場所に設置します。
- ・ 見えない壁を伸ばす方向に、バーチャルウォール発光部を向けます。

③ ルンバの ^{クリーン}CLEAN ボタンを押して、清掃します。



電源を切るには

電源を切って見えない壁を消すときは、切替スイッチを「OFF (オフ)」に合わせます。

- メモ** 図のような壁 (▨ 部分) があるときは、オートバーチャルウォールを図の位置に置くことをお勧めします。
- メモ** 赤外線の本質上、向かいの壁の反射状態などにより、正しく動作しない場合があります。はじめて設置する場所では、ルンバが見えない壁を通り抜けられないことを確認してください。
- メモ** ホームベースが近くにあると、正しく動作しないことがあります。ホームベースから 2.5m 以上離して設置してください。

2 エラーメッセージの言語を切り替える

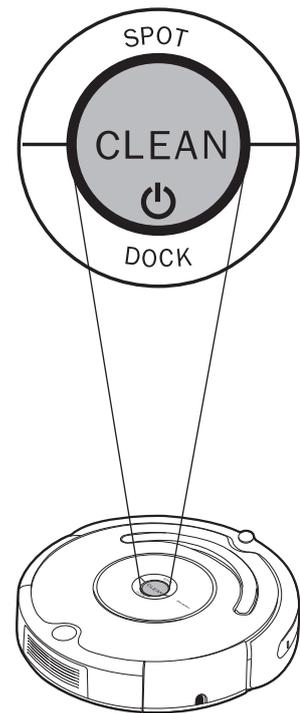
エラーメッセージの言語を切り替えることができます。下記の 16 言語に対応しています。

日本語	ハンガール	中国語	英語	フランス語	ドイツ語
スペイン語	イタリア語	オランダ語	デンマーク語	スウェーデン語	
ノルウェー語	フィンランド語	ポーランド語	ロシア語	ポルトガル語	

メモ 購入時は、日本語に設定されています。

言語を切り替える

- 1 ルンバの電源が切れていることを確認します。**
 - ・ CLEAN (クリーン) ボタンが点灯しているときは、CLEAN (クリーン) ボタンを 2 秒以上押し続け、CLEAN (クリーン) ボタンのライトを消します (電源が切れます)。
- 2 ^{クリーン} CLEAN ボタンを 3 秒以上押し続けます。**
 - ・ ビープ音が鳴り、現在設定されている言語名をルンバが読み上げます。
- 3 ^{クリーン} CLEAN ボタンから手を放します。**
- 4 切り替えたい言語名をルンバが読み上げるまで、繰り返し ^{クリーン} CLEAN ボタンを押します。**
 - ・ CLEAN (クリーン) ボタンを押すたびに違う言語名を読み上げます。
- 5 ^{クリーン} CLEAN ボタンを 2 秒以上押し続け、電源を切ります。**
 - ・ 次に電源を入れたときから、エラーメッセージの言語が切り替わります。



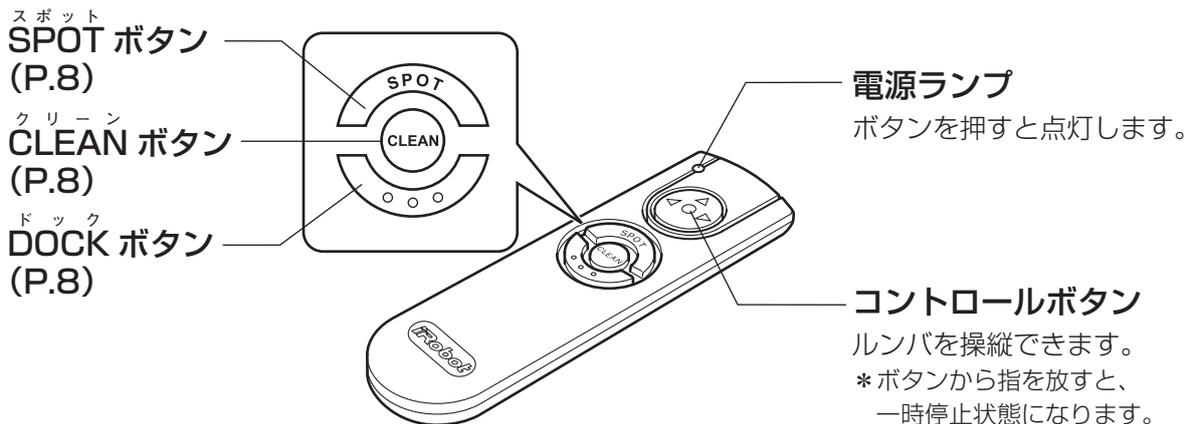
3 エラーメッセージ

清掃中や充電中に何らかの異常が発生すると、ルンバはエラーメッセージで異常をお知らせします。エラーメッセージの内容に応じて、次の表に従い対処してください。エラーメッセージは、エラーの代表的な原因をもとに発せられており、実際のエラー原因とは異なる場合があります。下記の対処方法をお試しになっても解決しない場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

エラーメッセージ	代表的なエラー原因	おもな対処方法
エラー 1 (左 または 右) ルンバを別の場所に移動し、 クリーンボタンを押して再起動して ください	左車輪または右車輪が落下して います	ルンバを別の場所に移動させ、左右の車輪がしっかりと床の上にあることを確認してから CLEAN (クリーン) ボタンを押して稼働させてください。
エラー 2 ルンバのワイヤーガードをあけて、 ブラシを清掃してください	ブラシが回転していません	ブラシを取り外し、清掃してください (P.24, 25)。
エラー 5 (左 または 右) ルンバの左右のタイヤを回転させて 清掃してください	左車輪または右車輪が回転して いません	後車輪と本体のすき間に入り込んだゴミや髪の毛を取り除きます。車輪を押し込むように下から数回、強めに叩き、左右の車輪とも問題なく回転することを確認してください (P.27)。
エラー 6 ルンバを別の場所に移動し、 クリーンボタンを押して再起動して ください	段差センサーが汚れているか、 またはルンバが常に段差を認識 している状態です	段差センサー (透明な窓) を乾いた柔らかい布または綿棒などで軽く拭いてください (P.28)。
エラー 7 ルンバの左右のタイヤを回転させて 清掃してください	左車輪または右車輪が落下して いると誤認識している状態です	後車輪と本体のすき間に入り込んだゴミや髪の毛を取り除きます。車輪を押し込むように下から数回、強めに叩き、左右の車輪とも問題なく回転することを確認してください (P.27)。
エラー 9 ルンバのバンパーを軽く叩いて、バ ンパーのゴミを落としてください	バンパーが押されていると誤認 している状態です	バンパーを軽く 10 回ほど叩き、バンパー内部にたまっているゴミを取り除いてください。
エラー 10 ルンバの左右のタイヤを回転させて 清掃してください	左車輪または右車輪が回転して いないか、またはバンパーが障 害物を認識していません	ルンバがその場で回転するような動きをする場合は、後車輪と本体のすき間に入り込んだゴミや髪の毛を取り除きます。車輪を押し込むように下から数回、強めに叩き、左右の車輪とも問題なく回転することを確認してください (P.27)。
ルンバを充電してください (CLEAN(クリーン)ボタンが赤点滅)	バッテリーの残量がありません	AC アダプターを直接ルンバに接続し、(またはホームベースに載せ) 充電してください (P.12, 13)。
充電エラー 1	バッテリーが正常に装着されて いません	絶縁シートが引き抜かれていることを確認してください。絶縁シートが引き抜かれている場合は、バッテリーを取り外し (P.31)、本体およびバッテリーの接触部にゴミやホコリが付着していないかをご確認のうえ、バッテリーを入れなおしてください。
充電エラー 2	充電エラーです	ルンバからホームベースや AC アダプターを取り外し、1 時間以上待ってから、再度充電してください。
充電エラー 3	本体の充電エラーです	ルンバをリセットし (P.35)、再度充電してください。
充電エラー 5	正常に電気が供給されていま せん	ルンバをリセットし (P.35)、電源からルンバ本体までの接続をご確認ください。確認後、再度充電してください。
充電エラー 6	バッテリーが過熱しています	ルンバからホームベースや AC アダプターを取り外し、1 時間以上待ってから、再度充電してください。
充電エラー 7	バッテリーが十分に冷めていま せん	ルンバからホームベースや AC アダプターを取り外し、1 時間以上待ってから、再度充電してください。

4 リモコンを使う

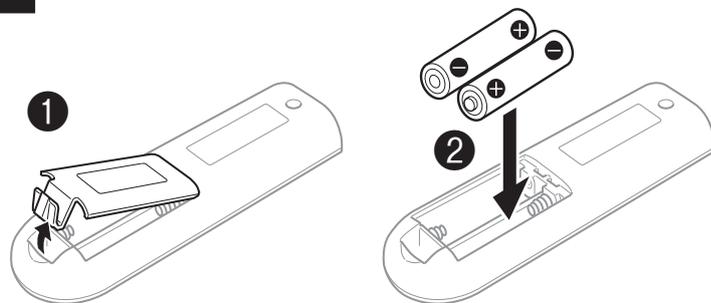
付属のリモナビ（リモコン）を使って、掃除する場所にルンバを移動させることができます。



乾電池を入れる

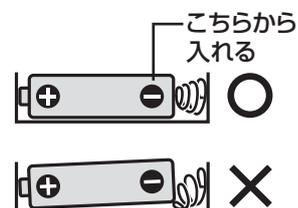
単 3 形の乾電池を 2 本、ご用意ください。

- ① 電池カバーを開けます。
- ② 乾電池を、図の方向に入れます。
- ③ 電池カバーを取り付けます。

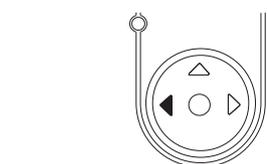


注意 バネが一極に正しく接するように入れてください

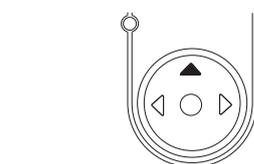
バネが一極の下に潜ったり、乾電池の上に飛び出たり、+極に接していたりすると、乾電池の液漏れやリモナビ（リモコン）自体の故障の原因になります。



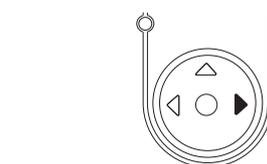
ルンバ® を操縦する



ボタンを押しているあいだ、その場で左回りに回転します。



ボタンを押しているあいだ、前進します。



ボタンを押しているあいだ、その場で右回りに回転します。

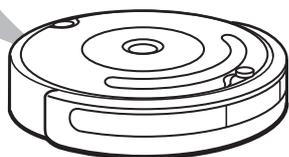
メモ 赤外線の性質上、周囲の明るい光の影響によっては、ルンバを操縦しにくくなる場合があります。

メモ 本体とリモナビ（リモコン）が互いに反応しない場合は、「故障かなと思ったら」（P.34）をお読みください。

メモ ホームベース付近でコントロールボタンを押すと、ルンバがホームベースに戻ることがあります。

お手入れする

この章では、ルンバのお手入れのしかたを紹介します。ルンバを長く使い続けるため、4～5回使ったら、それぞれの部品をお手入れしてください。



1 ブラシを清掃する (P.24)

2 フィルターなどを清掃する (P.26)

3 車輪を清掃する (P.27)

4 センサーなどを清掃する (P.28)

注意 お手入れ中は、ルンバの操作ボタンを押さないようご注意ください。

注意 硬いもの、水気を含んでいるもの、有機溶媒（シンナー、ベンジン、アルコールなど）は使用しないでください。

注意 可燃性のダストスプレーを使うときは、あらかじめバッテリーを取り外してください (P.31)。

ご用意いただくもの

お手入れカッター (付属)	ブラシに絡まったゴミや髪の毛をカッターで切断しながら取り除くときに使います。
一般的な掃除機	フィルターに張り付いたホコリや、すき間に入り込んだホコリを吸い取ります。すき間用の細いノズルを取り付けて使うことをお勧めします。
綿棒または ティッシュペーパー	センサーの汚れを拭き取ります。
ピンセット、 先の細いハサミなど	絡まったゴミや髪の毛を取り除くときに使います。
柔らかい布、 化学ぞうきん、 ウェットティッシュ	ルンバの表面やダスト容器の汚れを取り除くときに使います。
新聞紙など	床を汚さないように、ルンバの下に敷きます。

ダストスプレーがあると便利です

ダストスプレー（エアダスター）を使うと、すき間のホコリを簡単に吹き飛ばせます。ホコリが飛び散る可能性がありますので、屋外で使用してください。

1 ブラシを清掃する

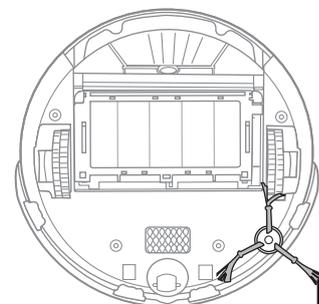
ゴミや髪の毛などが絡みついた場合は、ブラシを清掃する必要があります。なるべくこまめにお手入れしてください。ゴミが絡みついたまま使い続けると、ルンバが破損し、ブラシが回転しなくなることがあります。数字 (1~4) の順にブラシを清掃してください。

1 エッジクリーニングブラシから髪の毛などを取り除く

- 1 ルンバの電源を切り、ルンバを裏返します。
- 2 ゴミや髪の毛を、ブラシから取り除きます。

髪の毛などが取り除けないときは

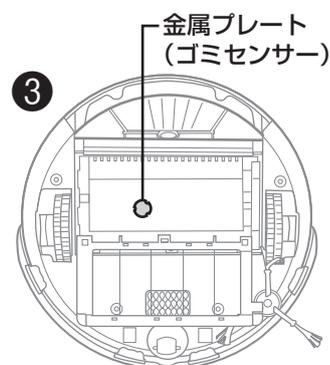
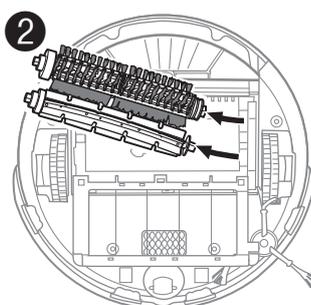
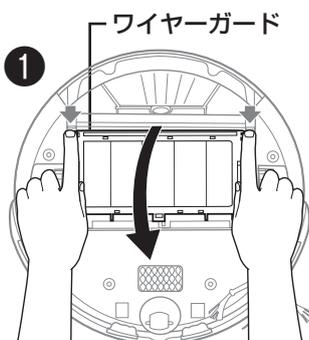
エッジクリーニングブラシを取り外して、ゴミや髪の毛を取り除きます (P.31)。



エッジクリーニングブラシ

2 2本のブラシを外す

- 1 ワイヤガードの2つのレバーに指をかけ、図の矢印の方向へ引き上げます。
- 2 2本のブラシを取り外します。
- 3 図の金属プレートを、綿棒などで軽く拭きます。

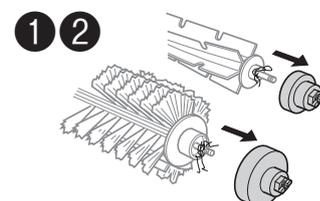


3 2本のブラシを清掃する

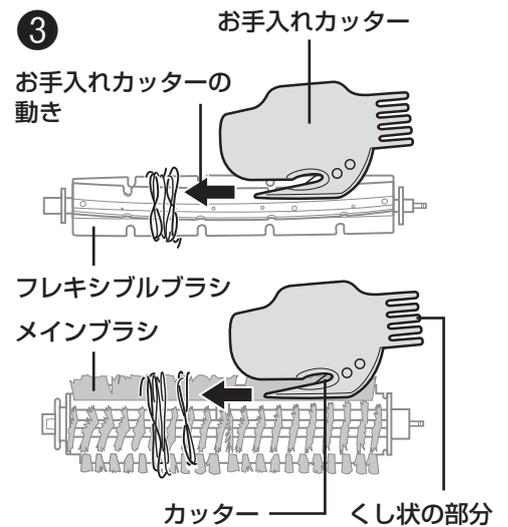
注意 ブラシの黄色いキャップをなくさないでください

黄色いキャップが外れた状態で使用すると、ブラシの負荷を調節できずルンバが破損します。

- 1 2本のブラシから黄色いキャップを取り外します。
- 2 内側にたまったゴミや髪の毛を取り除きます。



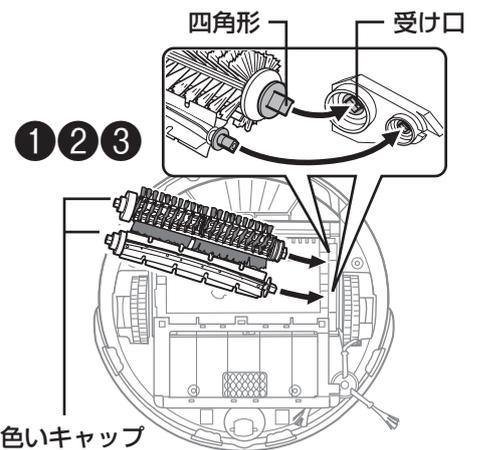
- ③ お手入れカッターのカッターを、2本のブラシに沿って滑らせます。
・ ブラシに絡まったゴミや髪の毛が、切断されます。
- ④ ゴミや髪の毛を、2本のブラシから取り除きます。
・ 取りにくいときは、お手入れカッターのくし状の部分を使います。
- ⑤ 2本のブラシの黄色いキャップを、しっかりと奥まで押し込んで戻します。



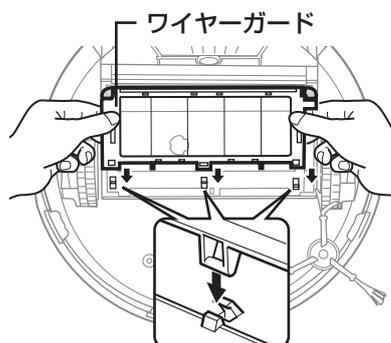
4 2本のブラシを戻す

注意 ブラシの向きにご注意ください
 ブラシを逆向きに取り付けて使用すると、ブラシが回転しなくなり、ルンバが故障します。

- ① 受け口および受け口周辺部を清掃します。
- ② ブラシの「四角形」の端を、ルンバの「受け口」に差し込みます。
- ③ ブラシの黄色いキャップのある端を、ルンバに
・ 回して、きちんと差し込まれたことを確かめます。
- ④ ワイヤガードを元に戻し、2つのレバーの近くを、指で押します。



ワイヤガードが外れたときは
 ワイヤガードを、ルンバの3箇所のフックにはめ込みます。



お手入れする

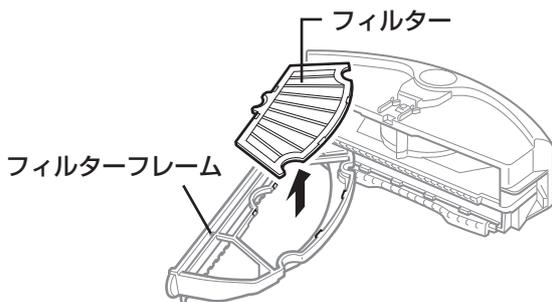
2 フィルターなどを清掃する

ゴミの収集力を保つため、ルンバを4～5回使ったら、お手入れしてください。

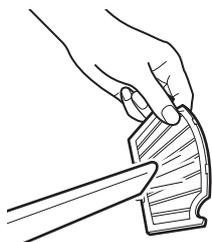
ダスト容器とフィルターを清掃する

① ダスト容器を空にします (P.15)。

② フィルターを取り外します。



③ フィルターのホコリを、一般的な掃除機で吸い取るなどして取り除きます。



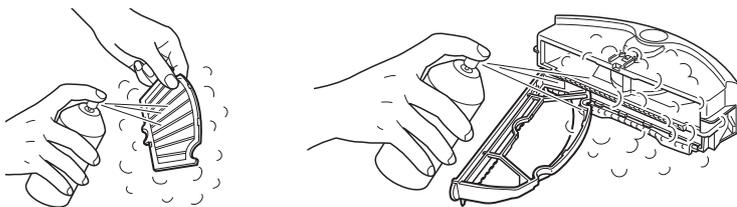
④ ダスト容器のなかのホコリを、一般的な掃除機で吸い取るなどして取り除きます。

- ・ ダスト容器は水洗いできません。

メモ フィルターフレームが外れたときは、P.15 をごらんください。

ダストスプレーがあると便利です

ダストスプレー (エアダスター) を使うと、フィルターとダスト容器のホコリを簡単に吹き飛ばせます。屋外で使用してください。



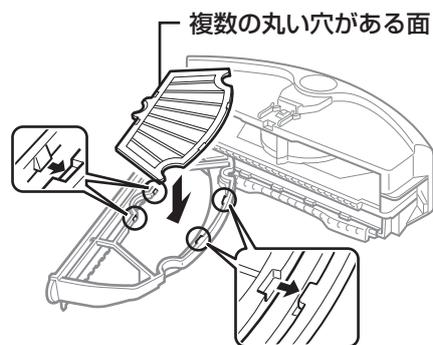
ウェットティッシュがあると便利です

ウェットティッシュを使うと、ダスト容器の汚れを簡単に拭き取れます。

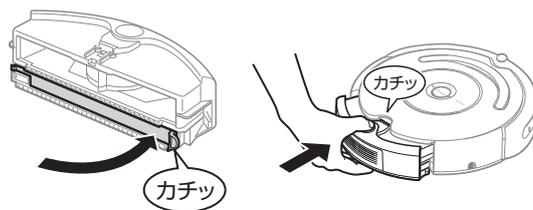
⑤ 柔らかい布や化学ぞうきんで、ダスト容器のなかを拭きます。

⑥ フィルターを、ダスト容器にセットします。

- ・ フィルターの上下を間違えないよう、ご注意ください。
- ・ 枠に複数の丸い穴がある面が、フィルターの上面です。
- ・ 4箇所のツメがロックされていることを確認してください。



⑦ ダスト容器を、ルンバに戻します。



3 車輪を清掃する

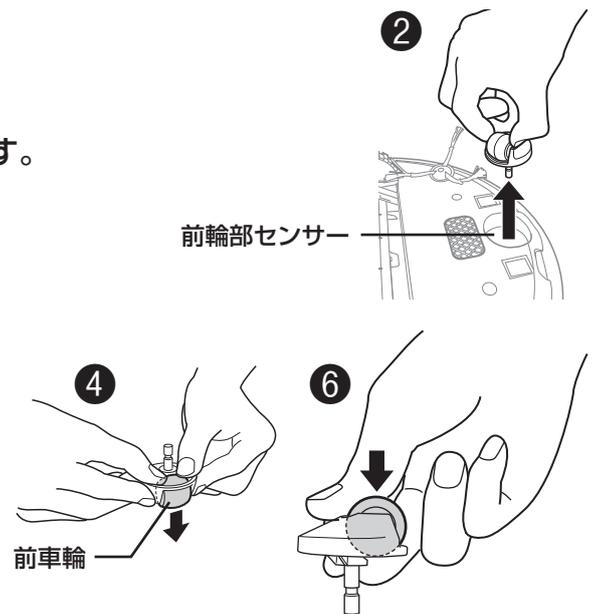
前輪部にゴミや髪の毛などが絡みついた場合は、必ず取り除いてください。
ルンバを4～5回使ったら、後車輪と、その周辺のすき間を清掃してください。

注意 ホコリを吹き飛ばすために可燃性のダストスプレーを使う場合は、あらかじめバッテリーを取り外してください (P.31)。

前輪部から髪の毛などを取り除く

前輪部にゴミや髪の毛が絡みついていると、ルンバが破損したり、床に傷がつくことがあります。

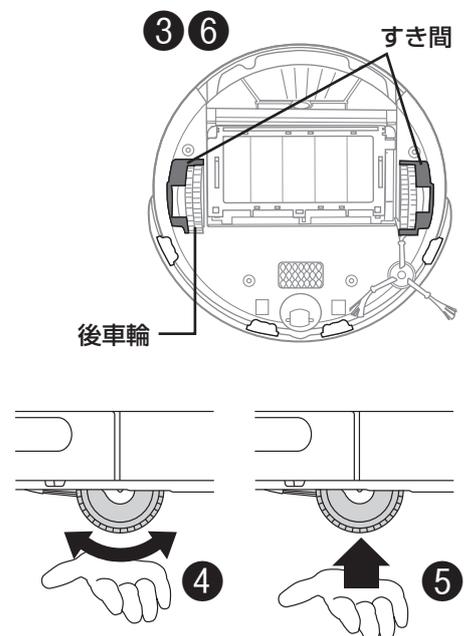
- 1 ルンバの電源を切り、ルンバを裏返します。
- 2 前輪部をつまみ、引き抜きます。
- 3 前輪部センサーを、綿棒などで軽く拭きます。
- 4 図のように前輪部の裏側から指で強く押し、前車輪を取り外します。
- 5 ゴミや髪の毛を、前車輪から取り除きます。
- 6 前車輪を前輪部に強く押し込みながら戻します。
- 7 前輪部をルンバに戻します。



後車輪を清掃する

後車輪そのものや、後車輪と本体のすき間にゴミがたまると、誤動作を引き起こすことがあります。ルンバを4～5回使ったら、清掃してください。

- 1 ルンバの電源を切り、ルンバを裏返します。
- 2 ゴミや髪の毛を、後車輪から取り除きます。
- 3 すき間のゴミや付着物を、一般的な掃除機で吸い取ります。
・掃除機で吸い取れない汚れは、綿棒などで拭き取ります。
- 4 後車輪が下になるように持ち、後車輪を手で前後に数回まわします。
- 5 後車輪を押し込むように、下から数回、強めに叩きます。
- 6 すき間のホコリを、一般的な掃除機で再び吸い取ります。



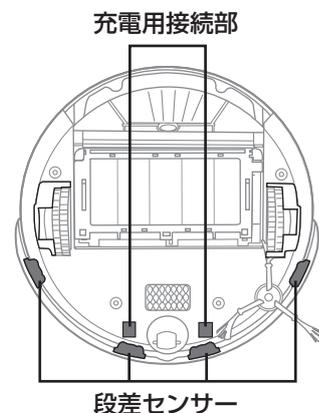
4 センサーなどを清掃する

ルンバを4～5回使ったら、お手入れしてください。

段差センサーなどを拭く

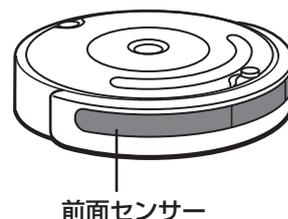
- 1 ルンバの電源を切り、ルンバを裏返します。
- 2 段差センサー（透明な窓）や充電用接続部とその周辺を、綿棒などで軽く拭きます。
 - ・ センサーは、やさしく拭いてください。

注意 ホコリを吹き飛ばすために可燃性のダストブローを使う場合は、あらかじめバッテリーを取り外してください (P.31)。



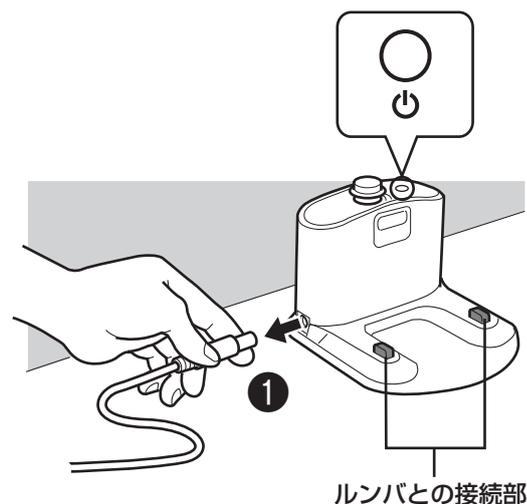
前面センサーとルンバ® 全体を拭く

- 1 柔らかい布や化学ぞうきんで、ルンバの汚れを拭き取ります。
 - ・ 前面センサーは、やさしく拭いてください。



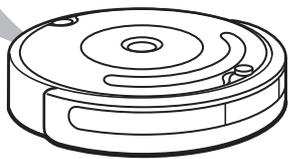
ホームベース™を清掃する

- 1 安全のために、ACアダプターを取り外します。
 - ・ ホームベースのランプが消灯します。
- 2 柔らかい布や化学ぞうきんで、ホームベースの汚れを拭き取ります。
- 3 ルンバとの接続部を、柔らかい布や化学ぞうきんで拭き取ります。
- 4 ACアダプターを接続します。
 - ・ ホームベースのランプが点滅します。



困ったときは

この章では、トラブルの解決方法や、交換が必要な付属品の交換方法などを紹介します。



- 1** 交換が必要な付属品 (P.30)
- 2** よくあるご質問 (P.32)
- 3** 故障かなと思ったら (P.34)
- 4** アフターサービス (P.36)
- 5** 製品仕様など (P.37)
- 6** さくいん (P.38)

1 交換が必要な付属品

ご案内

以下は交換が必要な付属品です。交換時期になったら、新しい部品に交換してください。

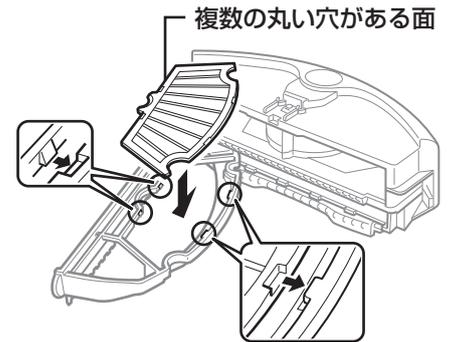
部品名	交換時期の目安
フィルター	吸い込む力が弱くなったとき
エッジクリーニングブラシ	ブラシが摩耗したり、折れたりしたとき
メインブラシ	ブラシが摩耗したとき
フレキシブルブラシ	ブラシが摩耗したとき
クッションラバー	粘着力が弱くなったり、摩耗したとき
バッテリー (商品名:iRobot XLife(アイロボット エクスライフ)バッテリー)	稼働時間が著しく短くなったとき

交換が必要な付属品のお求めは

アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

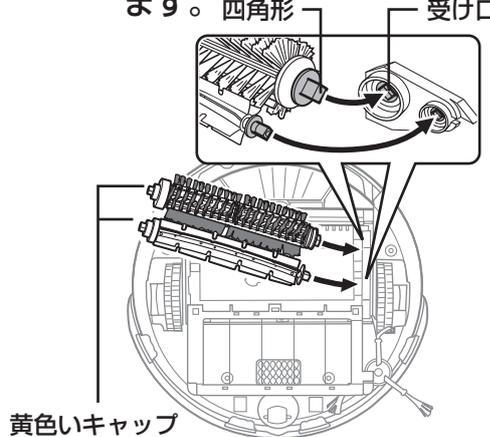
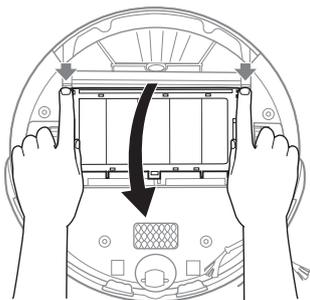
フィルターを交換する

- 1 ダスト容器から、フィルターを取り外します。
- 2 新しいフィルターを、ダスト容器にセットします。
 - ・ フィルターの上下を間違えないよう、ご注意ください。
 - ・ 枠に複数の丸い穴がある面が、フィルターの上面です。
 - ・ 4箇所のツメがロックされていることを確認してください。



メインブラシ・フレキシブルブラシを交換する

- 1 2つのレバーに指をかけ、ワイヤーガードを図の大きな矢印の方向へ引き上げます。
- 2 2本のブラシを交換します。四角形
受け口
- 3 ワイヤーガードを元に戻します。



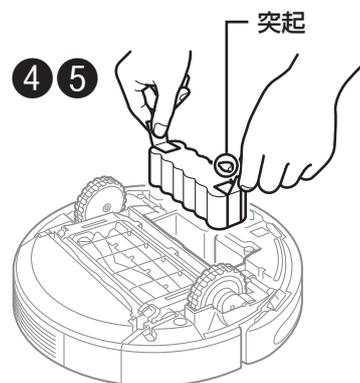
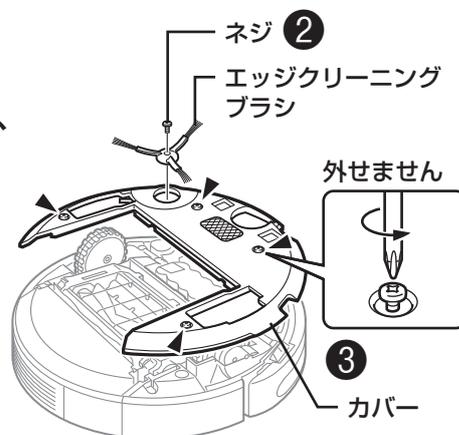
クッションラバーを交換する

取り付け方法については、P.10 をごらんください。

バッテリーを交換する

稼働時間が著しく短くなったときに交換します。
プラスドライバーをご用意ください。

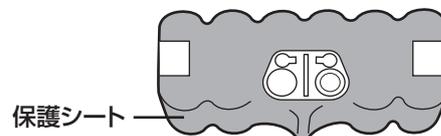
- ① ルンバの電源を切り、ルンバを裏返します。
- ② エッジクリーニングブラシの中心にあるネジを外し、エッジクリーニングブラシを取り外します。
 - ・ 外したネジをなくさないよう、ご注意ください。
- ③ 裏面のネジ（4本）を緩め、カバーを取り外します。
 - ・ ネジ（4本）は外せません。
- ④ 図のように両手で持ち、バッテリーを取り外します。
- ⑤ 図のように両手で持ち、新しいバッテリーをルンバに取り付けます。
 - ・ バッテリーの突起を、ルンバの前に向けます。
 - ・ バッテリーに通電し、メロディー音が流れます。
- ⑥ カバーを取り付け、ネジ（4本）を締めます。
- ⑦ エッジクリーニングブラシを取り付けます。
- ⑧ ネジを取り付け、締めます。
 - ・ ネジを締めすぎないように、ご注意ください。



古いバッテリーを処分するには

充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください (P.31)。

注意 バッテリー破損の原因になりますので、バッテリーを覆っているビニール製の保護シートは、はがさないでください



エッジクリーニングブラシを交換する

摩耗したり折れたりしたときに交換します。プラスドライバーをご用意ください。

- ① 「バッテリーを交換する」の①～②を行い、エッジクリーニングブラシを取り外します。
- ② 新しいエッジクリーニングブラシを取り付け、ネジを締めます。
 - ・ ネジを締めすぎないように、ご注意ください。

2 よくあるご質問

●充電にはどれくらい時間がかかるの？

約3時間で充電できます。はじめて使うときや、新しいバッテリーに交換したときや、電圧が著しく低下したときは、最長16時間かかることがあります。

●バッテリーはどのくらい使えるの？

床の種類、部屋の広さと形状、室温などによって異なりますが、通常清掃時の最大稼働時間は60分間です。ただし、長期間使ったバッテリーは劣化しているため、最大稼働時間が短くなります。

正しく充電しても稼働時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので交換してください。

●家具や床、壁（漆喰やけいそう土などの塗り壁）を傷つけないの？

デリケートな床材や壁（漆喰やけいそう土などの塗り壁）、漆塗りなど光沢のある家具の近くでは使用しないでください。まれに、傷が残る場合があります。

●どんな床でも使えるの？

フローリング、畳、カーペットで使用できます。ただし、カーペットの長い房は、内側に折り込んでください。毛足の長いカーペット、コンクリート、タイル、石畳などでは、ご使用にならないでください。故障の原因となります（保証の対象外となります）。

●屋外でも使えるの？

ルンバは屋内専用です。屋外での使用は故障の原因となりますので、ご使用にならないでください（保証の対象外となります）。

●水分も吸い取れるの？

吸い取れません。水分は故障の原因になりますので、清掃前に床面の水分を必ず拭き取ってください。特に、ペットなどの排泄物にご注意ください（保証の対象外となります）。

●ペットや子供がいても大丈夫？

自律走行するルンバの性質上、万一の可能性を考えて、お子さまやペットをルンバに近づけないよう、ご注意ください。

●ペットの毛は吸い取れるの？

ルンバは同じところを何度もていねいに清掃します。カーペットに絡まったペットの毛や、細かいホコリもいろいろな方向から清掃することできれいにします。

●部屋の隅や壁際も清掃できるの？

エッジクリーニングブラシが部屋の隅や壁際のゴミも清掃します。しかし、ブラシが届かない場所のゴミを取り残すことがあります。

●ベッドや家具の下は清掃できるの？

高さ 10cm 以上の空間であれば、ルンバは家具などの下に入り込んで清掃します。

●複数の部屋を清掃できるの？

部屋と部屋のあいだに障害物や段差などがなければ、1回で複数の部屋を清掃できます。しかし、各部屋の広さやバッテリーの残量によっては、清掃が行き届かない場合があります。また、ホームベースをお使いの際に、ホームベースに戻らない場合があります。

●ルンバはお部屋の形状を記憶するの？

ルンバはお部屋の形状を記憶しません。どんなお部屋でも適応して効率的に清掃するため、ルンバは独自の人工知能を備えています。らせん状に旋回したり、壁や障害物を感知するとその周辺を回り込んだり回避したりします。このように複数の動きを組み合わせることで効率的に走行します。

●ブラシ類（メインブラシ、フレキシブルブラシ、エッジクリーニングブラシ）は水洗いできるの？

水洗いできます。水洗い後、十分に乾燥していることを確認してから、ルンバに取り付けてください。

●ダスト容器やフィルターは水洗いできるの？

水洗いできません。お手入れについては、「お手入れする」(P.23)をお読みください。

●持って行くのでその場で修理して欲しい／出張サポートして欲しい

申し訳ございませんが、アイロボットサービスセンターでの直接の受付、修理、および出張サポートなどは行っておりません。修理とサポートに関しましては、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

●セキュリティシステムを導入していますが、ルンバは使えるの？

セキュリティシステムを解除している状態では使用できますが、お留守のときなどセキュリティシステムが稼働している状態では、清掃中のルンバが「侵入者」と認識され、セキュリティシステムが作動しますので、ご使用はお控えください。

●インターネット等で販売されているアイロボット社製ではない付属品（バッテリー等）は使っているの？

アイロボット社製ではないものを装着して使用された場合には、ルンバの性能や安全性が保証できかねますので、ご使用はお控えください。

3 故障かなと思ったら

修理サービスをご依頼される前に、次のことをご確認ください。

このようなときは	ご確認ください
エッジクリーニングブラシが取り外せない/ 取り付けられない	●エッジクリーニングブラシを取り外す際は強く引っ張り、取り付けの際は強く押し込んでください。
吸い込む力が弱まった	●ダスト容器を空にし、フィルターを取り外して清掃します (P.26)。 ●ブラシからゴミを取り除き、ゴミセンサーを綿棒などで拭きます (P.24)。
メロディー音・ビープ音・音声が出る	●ボタンを押したときに、操作によっては、操作完了をメロディー音またはビープ音で報告します。 ●ルンバの電源の入れ直し (P.8) やルンバのリセット (P.35) をお試しください。 ●清掃中に何らかの異常が発生すると、ルンバは清掃を中断し、エラーメッセージで異常をお知らせします (P.21)。
ブラシ周辺からカタカタ音がする	●ブラシやブラシの受け口にたまったゴミや髪の毛を取り除いてください (P.24, 25)。
充電できない (CLEAN (クリーン) ボタンが点滅 / 点灯しない) 充電しても短時間しか動かない 電源が入らない	●長期間使わなかった場合は、充電→使用→充電と何度か繰り返します。 ●バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します (P.31)。 ●電源コンセントと AC アダプターが正しく接続され、AC アダプターのランプが点灯していることを確認します (P.12)。 ●(ホームベースをお使いの場合) 電源コンセント・AC アダプター・ホームベースが正しく接続され、ホームベースのランプと AC アダプターのランプが点灯していることを確認します (P.13)。 ●(ホームベースをお使いの場合) ホームベースのランプが点灯していること (ルンバがホームベースに正しく載っていること) を確認します。 ●次の順序で操作します。 1) ルンバをリセットする (P.35)。 2) ルンバの CLEAN (クリーン) ボタンが緑色に点灯するまで、中断せずに充電する。 CLEAN (クリーン) ボタンがオレンジ色に速く点滅しているときは、緑色に点灯するまで最長 16 時間かかることがあります。 ●バッテリーの寿命かもしれません。 バッテリーを新しいものに交換してください (P.31)。
ブラシに物が絡まって停止した	●巻き込まれたものがルンバのブラシに絡まったときは、自動的に停止します。停止したことを確認し、ルンバの電源を切ってから、絡まったものをゆっくりと引き出し、ブラシから取り除いてください。
動きがおかしい (その場で回り続ける、すぐ止まる、バックを繰り返す、車輪が回らない)	●ブラシをルンバ本体から外し、ブラシとブラシ受け口を清掃してください (P.24, 25)。 ●センサー部分のホコリを落とすため、以下の方法をお試しください。 ・バンパーを下にして、ルンバ本体の左右を強めに数回叩く。 ・バンパーを下から押し上げるように強めに数回叩く。 ・車輪を手で数回、まわす (P.27)。 ・車輪を下から押し上げるように強めに数回叩く (P.27)。 ・一般的な掃除機のすき間ノズルなどで、ルンバ裏面のすき間に付着したホコリを吸い取る (P.27)。 ●床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識していることがあります。アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

困ったときは

階段などの大きな段差に落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ● 段差センサーを清掃してください (P.28)。 ● 付属のオートバーチャルウォールで、その段差をルンバの立ち入り禁止区域にしてください (P.19)。 ● ホームベースを段差の付近に設置している場合は、設置場所を変えてください (P.13)。
オートバーチャルウォールが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 切替スイッチが「AUTO (オート)」になっていることおよび、乾電池が正しく取り付けられていることを確認します (P.18)。 ● 電源ランプが約 10 秒ごとに 2 回点滅していたら、乾電池を交換します (P.18)。 ● 電源ランプが約 10 秒ごとに 1 回点滅していたら、バーチャルウォール発光部の方向を確認します (P.19)。
ホームベースに戻らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ルンバがホームベースに戻りにくい環境にないか、ご確認ください (P.13)。 ● ホームベースの近くにオートバーチャルウォールがある場合は、これらを 2.5m 以上離してください。
リモナビ (リモコン) が機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが点灯しない場合は、乾電池を交換します (P.22)。 ● 乾電池が正しく取り付けられていることを確認します (P.22)。 ● ホームベースおよびオートバーチャルウォールから、ルンバを 2.5m 以上離します。

その他のトラブルや、交換が必要な付属品などのご購入については、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください (P.39)。

ルンバをリセットするには

- 1) 電源を入れます。
- 2) SPOT (スポット) ボタンを押したまま、CLEAN (クリーン) ボタンが消灯するまで DOCK (ドック) ボタンを押し続けます (約 10 秒間)。
- 3) DOCK (ドック) ボタンから手を放すと、メロディー音が流れます (リセット完了)。

4 アフターサービス

修理に関するご相談

まず、「使用上のご注意」(P.4)と「故障かなと思ったら」(P.34)をご確認ください。
それでも解決しない場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください(P.39)。
製品の保証期間については、「保証書と保証期間」(P.3)をお読みください。

分解・清掃が特に困難なとき

保証期間内であっても、有料対応となることがあります。詳しくは、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください(P.39)。

分解・清掃が特に困難になることの例

- ペットの排泄物などを吸い込んだ
- 粘着式の除虫シートが絡まった
- 水など、液体を吸い込んだ

5 製品仕様など

仕様一覧

品名	ロボット掃除機
機種名	ルンバ 624
製造元	アイロボット社 (アメリカ・マサチューセッツ州) 原産国：中国
電源方式	充電式ニッケル水素バッテリー
消費電力 (充電時)	33W
稼働時間	最大 60 分 (通常清掃時) *
製品寸法 (本体)	直径 340mm × 高さ 92mm
製品重量 (本体)	約 3.7kg (バッテリー装着時)
集じん方式	ダストビン式 (紙パック不要)
充電器 (AC アダプター)	入力：100V 50/60Hz、出力：22.5V DC 1.25A

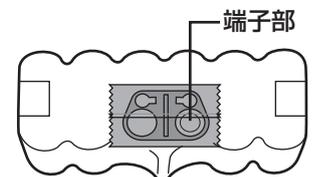
* 最大稼働時間は、お部屋の形状や床の状態、室温、バッテリーの状態などにより異なります。

古いバッテリーの処分について

充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。
安全のため、端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼ってください。

お問い合わせ：JBRC

<http://www.jbrc.com/>



Ni-MH

リサイクルにご協力ください。ご使用済みのバッテリーは貴重な資源です。
廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

商標について

iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、Home Base、ホームベース、Virtual Wall、バーチャルウォール、仮想壁、リモナビ、XLife バッテリー、クッションラバー、Dirt Detect はアイロボット社またはセールス・オンデマンド株式会社の商標または登録商標です。

6 さくいん

英字

AC アダプター	7、12、13
CLEAN ボタン	8、14
DIRT DETECT ランプ	8
DOCK ボタン	8
iRobot XLife バッテリー	30
SPOT ボタン	8

あ行

アイロボットサービスセンター	39
後車輪	9、27
エッジクリーニングブラシ	9、24、30、31
エラーメッセージ	14、20、21
オートバーチャルウォール	18、19、35
お手入れカッター	23

か行

乾電池	7、18、22
黄色いキャップ	9、25
クッションラバー	10、30
ゴミセンサー	24

さ行

充電	5、12、13
充電端子	8
充電用接続部	6、9、28
修理	36
赤外線受信部	8
絶縁シート	1、2、9
センサー	8、9、24、27、28
前輪部	9、27

た行

ダスト容器	8、15
段差センサー	9、28

は行

排気口	6、8
バッテリー	5、7、9、12、30、31、37
バッテリー残量	8
バンパー	8
ビープ音	20、34

フィルター	26、30
フレキシブルブラシ	9、30
ホームベース	7、13、14、28、35
保証書	3、33、40

ま行

前車輪	27
メインブラシ	9、30
持ち運びハンドル	8

や行

ユーザー登録	3
--------------	---

ら行

リセット	35
リモコン	22、35
リモナビ	22、35

わ行

ワイヤーガード	9、24
---------------	------

●ご不明な点や修理に関するご相談は●

お問い合わせの前に、まずは本書でご確認ください

- ・「使用上のご注意」(P.4)
- ・「故障かなと思ったら」(P.34)

これらをご用意ください

- ・ 製品
- ・ 保証書（裏表紙）
- ・ 最後に正常動作した日付
- ・ 最後に充電した日付

●ご不明な点や修理に関するご相談は● アイロボットサービスセンター

TEL : 0120-046-669 (通話無料) ※1

受付時間 9:30 ~ 17:30 (月~日曜日および祝祭日) ※2・3

ホームページ <http://www.irobot-jp.com/>

※1 携帯・PHSからもご利用いただけます。

※2 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。

※3 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また、弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

交換が必要な付属品・補修部品などのお求めは

交換が必要な付属品 (P.30) や補修部品などをお求めの際は、アイロボットサービスセンター (上記) にお問い合わせください。

お買い上げ合計金額が 10,000 円 (税抜) 以上の場合、国内配送料と代引手数料は無料になります。10,000 円 (税抜) 未満の場合は、国内配送料と代引手数料合計 900 円 (税抜) をいただきます。

お支払い方法は、離諸島・一部地域を除き、代金引換 (現金・クレジットカード・デビットカード使用可能) です。詳しくは、お問い合わせ時にご確認ください。

.....

注意

- ・ 修理によって交換した部品は、弊社にて回収いたします。
- ・ ルンバを使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。

書名	ロボット掃除機 ルンバ 600 シリーズ 取扱説明書
発行日	2015 年 10 月 30 日
発売元	セールス・オンデマンド株式会社
住所	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2 番 26 号 KDX 飯田橋ビル 3F

保証書

このたびは、お買い上げ誠にありがとうございます。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書に記載された条件を基に修理をいたします。
修理の際は、必ずこの保証書を添えてご依頼ください。

保証期間 ご購入日 年 月 日から 1 年間	製品番号
販売店名・住所・電話番号	お客様情報（必須） 氏名： 住所： 電話番号：

・販売店様へ
この保証書に購入日、貴販売店名、ご住所、電話番号をご記入またはご捺印の上、お客様にお渡しください。

保証事項

- 取扱説明書及び同梱している資材に従った屋内での正常な使用で故障した場合に、本保証書の記載内容に基づき無料修理致します。
- 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本保証書をご提示または送付の上、依頼してください。
- 修理はアイロボットサービスセンターへのご連絡により承っております。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 本保証書をご提示されないとき。
 - 本保証書の所定事項の未記入、記入事項を改ざんされたもの、及び販売店の表示がないとき（但し未記入の場合でも、領収書、納品書等ご購入年月日とご購入店を証明できるものをあわせてご提示いただくことにより保証サービスをご提供いたします）。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、異常電圧による故障及び損傷。
 - ご購入後の運送・移動時の落下等、苛酷な環境での使用時、お取り扱いが不適切なために生じた故障及び損傷。
- 取扱説明書及び同梱している資材に記載の使用方法、または注意、警告に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷。
- 改造、改変またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷。
- バッテリー・フィルター・ブラシ等の消耗品や補修部品の交換。
- 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の損害について弊社はその責に任じません。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、詳しくはアイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

《発売元》

アイロボット日本総代理店 セールス・オンデマンド株式会社
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2 番 26 号 KDX 飯田橋ビル 3F
TEL:0120-046-669 (通話無料)

●ご不明な点や修理に関するご相談は●

アイロボットサービスセンター

TEL : 0120-046-669 (通話無料) ※1 受付時間 9:30 ~ 17:30 (月~日曜日および祝祭日) ※2・3

ホームページ <http://www.irobot-jp.com/>

- ※1 携帯・PHSからもご利用いただけます。
- ※2 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- ※3 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また、弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。